

## Q. 人の心も経済も元気にするには

## A. 空港利用促進のため 助成制度を新設



安藤 春一 議員

**Q** 花と緑に囲まれた神明公園に、みんなが安全に簡単にやって来る。大山川の水辺ロードは、まさに夢の道といえよう。

私が夢で描く町民の心と心を繋ぐ歩行者専用道路を、考えているか。

県営名古屋空港は正念場を迎えている。3月27日、熊本便就航の朗報は周知のとおり。今後更なる拡充を図るため、町としての利用促進策を持つ

ているか。FDAは10億円以上の開発費を投入、さらに積極的にツアーを仕掛けるとのこと。議会も町民も応援・協力をしていきたい。

名古屋空港の成り立ちが、先人の血と汗が原点である。他の空港とは次元が異なる誇りある歴史を、利用促進と合わせ、改めてみんなに知ってもらえるように、努められたい。

**A** 町の中心地と神明公園を徒歩や自転車で安全・快適に結ぶ、緑のネットワーク構想として、めぐみ橋から神明公園までの大山川右岸堤防道路を、歩道として整備するための概略設計を行った。

平成23年度は、事業実施のための路線測量調査を実施する。

町民の方々の利用を促進するため、「県営名古屋空港利用促進助成制



人の心も経済も元気になるFDA

度」を新設する。

この制度により、多くの町民が旅行やビジネスに県営名古屋空港を利用されることを期待する。

名古屋空港は60年以上の歴史を持ち、多くの先人のご苦労、ご努力によ

り今日の姿がある。

これまでの路線存続活動の中で、こうした名古屋空港の歴史を機会あるごとに訴えている。

今後、町の広報紙など様々な広報手段を活用し、周知に努めていく。